



教室・講座

**土曜公開講座
教育なう**

- ▽日時 12月16日(土)午前10時～正午。
- ▽会場 市教育センター(天神1丁目)。
- ▽内容 「涙も笑いも、力になる 院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと」と題した、副島賢和さん(昭和大学大学院保健医療学研究科准教授)による講話。
- ▽定員 先着100人。
- ▽申込 10月12日～12月4日に、電話で、市教育センター ☎(639)4382へ。

**ロングライフ支援講座
新聞から学ぶ「文章術」**

- ▽日時 11月15日(水)午後2時～4時。

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となる。費用は無料。申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPはホームページ、EメールはEメール、☎は電話、☎はファクス、✉はEメール、④は出張所、⑤は生涯学習センター、⑥はうつのみや表参道スクエア、⑦は地域コミュニティセンター、⑧は市民活動センター

- ▽会場 東図書館(中今泉3丁目)。
- ▽内容 下野新聞社「しもつけ新聞塾」講師による新聞記事から学ぶ文章術の講座。投稿文の書き方も伝授。
- ▽定員 先着40人。
- ▽申込 10月25日午前9時30分から、直接または電話で、東図書館 ☎(638)5614へ。

**坂井塾 名人から教わる
工作 子どもたちに
伝えたい体験活動**

- ▽日時 10月14・21日、11月26日。午前10時～正午。全3回。
- ▽会場 人材かがやきセンター(中央④5階)。

- 11月26日は作新学院大学(竹下町)。
- ▽内容 坂井楞山さん(宮のものづくり達人)による工作の知識・技術と、工作体験の良さを地域で伝えていく意義について学ぶ講座。11月26日は「地域教育メッセ」で工作の体験コーナーを運営。
- ▽対象 子どもの家指導員・青少年指導員・親父の会・地域コーディネーター。

リーダーズクラブなど、子どもに関わる地域活動をしている人。

- ▽定員 抽選30人。
- ▽申込 直接または電話・はがき・ファクス・Eメール(講座名・住所・氏名・ふりがな・電話番号を明記)で、10月10日までに、〒320-0086中央1丁目1-13、人材かがやきセンター(中央④階) ☎(632)6332、FAX(632)6336、✉u4606@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。

**16ミリ映写機技術者
養成講習会**

- この講習会終了後に行う試験の合格者は、フィルム・映写機などの視聴覚機材を視聴覚ライブラリーから無料で借りて、さまざまな活動に利用できます。
- ▽日時 10月29日(日)午後1時～5時。
- ▽会場 東図書館。
- ▽対象 県内在住の高校生以上の人。
- ▽定員 先着20人。
- ▽申込 10月3～28日に、電話で、視聴覚ライブラリー ☎(638)5704へ。

**奇跡のピアニスト辻井伸行さんの母
辻井いつ子さん講演会(親学スペシャル)
「親ばか」のススメ
子どもの才能を引き出す法則とは**



- ▽日時 11月26日(日)午後1時～2時。
- ▽会場 作新学院大学。
- ▽内容 辻井いつ子さんによる、子どもの自己肯定感を高めるための子育ての仕方や子どもとの関わり方について学ぶ、うつのみや人づくりフォーラム「地域教育メッセ」のゲスト講演。
- ▽対象 市内に在住か通勤している、主に子育て世代の保護者。
- ▽定員 抽選400人。
- ▽申込 直接または電話・送付・ファクス・Eメール(「辻井いつ子さん講演会申込」と書き、住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢を明記)で、10月31日(必着)までに、〒320-0806中央1丁目1-13、人材かがやきセンター(中央④階) ☎(632)6332、FAX(632)6336、✉manabee@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。

**シニア世代応援講座
音読教室**

- ▽日時 10月31日(火)午前10時30分～11時30分。
- ▽会場 中央図書館(明保野町)。
- ▽内容 昔話や詩などの図書館の本を使い、音読の技術にはこだわらず、声に出して読むことを楽しむ会。
- ▽対象 おおむね50代以上の人。
- ▽定員 先着15人。
- ▽申込 10月4日午前9時

催し

**国指定史跡上神主・
茂原官衙遺跡
シンポジウム**

- 30分から、直接または電話で、中央図書館 ☎(636)0231へ。
- ▽日時 11月12日(日)午前10時～午後4時。
- ▽会場 東(中今泉3丁目)。
- ▽内容 藤井恵介さん(東京大学大学院教授)による

◎人材かがやきセンターで宮の朝活 ▽日時 11月10・17・24日、午前5時45分～7時30分。全3回
▽会場 人材かがやきセンターなど▽内容 講話、参加者による交流など▽対象 市内に在住か通勤通学している20～40代の人▽定員 抽選40人▽申込 直接または送付・電話・ファクス・Eメール(住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢・交通手段を明記)で、10月31日(必着)までに、〒320-0806中央1丁目1-13、人材かがやきセンター ☎(632)6332、FAX(632)6336、✉u4606@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。

各種スポーツ教室

▽教室名・内容・日時・会場など 下の表の通り。
 ▽申込 ①~④ 10月10日(消印有効)までに、宇都宮スポーツナビ <http://www.utsunomiya-sponavi.or.jp> の申し込みフォームに必要事項を入力するか、往復はがきの往信に教室名・住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢・②④ 託児希望の有無(有の場合は子どもの氏名・ふりがな・年齢)・②希望する回(第2希望まで)を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、〒321-0954 元今泉5丁目6-18、市スポーツ振興財団へ。はがき1枚につき1講座、複数人の申し込み可。子ども連れの参加は不可。託児利用者は可。⑤ 10月3日午前9時から、電話で、市スポーツ振興財団 ☎(663) 1611 へ。

教室名・内容	日時・会場	対象・定員・費用など
①バレー教室 バレー・ヨガ・フィットネスの要素を取り入れたシェイプアップエクササイズ	11月24日、12月1・8・15・22日。午前10時~11時。全5回 清原体育館(清原工業団地)	一般 抽選40人 2,500円
②ヨガ教室 ヨガの体位と呼吸法の習得で心身ともにリラックス	11月28日、12月5・12・19・26日。全5回 第5回=午前9時40分~10時40分 第6回=午前10時50分~11時50分 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館・元今泉5丁目)	一般 抽選50人 2,500円 託児あり(2歳以上の未就学児、2,000円)
③ピラティス教室 インナーマッスを鍛えて美しく健康的なボディを目指す	11月28日、12月5・12・19・26日。午後7時~8時。全5回 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館)	一般 抽選40人 2,500円
④ペルビック(骨盤)コンディショニング教室 身体のゆがみをセルフトレーニングで解消	11月30日、12月7・14・21・28日。午前9時40分~10時40分。全5回 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館)	一般 抽選30人 2,500円 託児あり(2歳以上の未就学児、2,000円)
⑤スポーツ健康体力相談(11月分) 目的・体力に応じたトレーニングメニューの提供	11月1・8・29日、午後1時30分~3時 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館)	一般 各先着12人 500円

▽日時 11月5日(日)午前9時30分~
 登れば愉快だ宇都宮
 宇都宮アルプス 篠井富屋
 連峰に登ってみませんか
 上神主・茂原官衙遺跡に関する講演、県内の官衙遺跡などの調査成果の発表や講師によるパネルディスプレイショー。
 ▽定員 先着300人。
 ▽申込 10月2日から、電話で、文化課 ☎(632) 2764 へ。

▽集合場所 子どもの森公園駐車場(篠井町)。
 ▽コース 子どもの森公園(本山・飯盛山分岐)・本山(男山)・榛名山(昼食)・子どもの森公園(解散)。
 ▽対象 市内在住の人。
 ▽定員 抽選20人。
 ▽費用 100円(保険料)。
 ▽申込 往復はがきの往信に「篠井富屋連峰ハイキング申込」と明記し、住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、10

月13日(必着)までに、〒320-8540 市役所観光交流課 ☎(632) 2456 へ。
マジック1・2・3の大人向けマジック講座
 ▽日時 11月18日(土)午前10時~正午。
 ▽会場 中央(中央1丁目)。
 ▽内容 マジックショー&マジック講座。
 ▽定員 抽選20人。
 ▽費用 2500円(教材費)。

▽申込 往復はがきの往信に「マジック講座希望」と明記し、参加者全員の住所・氏名・電話番号・年齢を、返信に代表者の郵便番号・住所・氏名を書き、10月20日(必着)までに、〒320-8540 市文化協会事務局(文化課内) ☎(632) 2746 へ。
宇都宮シティガイドの街中ツアー 大谷トロッコ軌道跡を歩くコース
 ▽期日 10月26日(木)。
 ▽時間 1班 午前9時30分~正午、2班 午前10時~午後0時30分。雨天中止。
 ▽コース 市営大谷駐車場(集合)・城山(旧荒針駅前)・のこぎり屋根の倉庫・旧瓦作跡・旧トロッコ軌道・立岩神社・旧立岩駅跡・瓦作街道・大谷夏いちごハウス・旧大谷寺前人車鉄道跡・平和観音・市営大谷駐車場(解散)。
 ▽定員 各抽選15人。
 ▽費用 500円(参加費)。
 ▽申込 往復はがきの往信に班名・参加者全員の住所・氏名・電話番号・年齢を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、10月11日(必着)

までに、〒321-0143 つぎ1丁目10-16、うつのみやシティガイド協会 ☎090(5411)8667 へ。
 6 観光交流課 ☎(632) 243

3月は無休。ただし、12月30日~平成30年1月1日を除く。なお、大会開催などにより利用できない場合があります。
 ▽費用 右の表の通り。市内に在住か通学している高校生以下の人は、宮つ子の誓いカードや学生証などを提示すると滑走路が無料。ただし、貸靴は有料。
 ☎市スケートセンター ☎(655) 6817

	一般	中学生以下
滑走券	750円	370円
貸靴券	310円	150円
回数券(6回分)	3,750円	1,850円
定期券	23,250円	11,470円

▽期間 1日~平成30年5月15日。
 ▽時間 平日 午後1時~7時。土・日・曜日、祝休日 午前9時~午後5時。
 ▽休場日 毎週水曜日。
市スケートセンター(城南3丁目)オープン

◎市の最新文化財情報 新資料速報展 2017 ▽期間 11月26日まで ▽時間 10月31日までは午前9時~午後5時、11月1日からは午前9時~午後4時30分 ▽会場 うつのみや遺跡の広場(上欠町・聖山公園内) ▽内容 溜西南遺跡・車塚古墳群・北の前遺跡などの調査で出土した出土品や新指定文化財の愛染明王図のパネル展示など。☎文化課 ☎(632) 2766、うつのみや遺跡の広場 ☎(659) 0193

生涯学習センターで各種催し

会場・講座名	日時	対象・定員・費用	申込
中央(運) 大人の学習講座 修道館アカデミー	11月1・8・15日、 午後1時30分～3 時30分。全3回	市内に在住か通勤 している成人 抽選40人	10月13日(消印有効)までに、直接またはは がき・Eメール(必要事項※を明記)で、〒320 -0806 中央1丁目1-13、中央(運) ☎(632) 6331、✉u47090100@city.utsunomiya.toch igi.jpへ
北(運) 聴いて読む名作 Part 7	11月7・21日、 12月5日。午後1 時30分～3時30 分。全3回	市内に在住か通勤 している成人 抽選50人	10月20日(消印有効)までに、直接またはは がき・Eメール・ファクス(必要事項※を明記)で、 〒320-0072 若草3丁目12-25、北(運) ☎(62 1)7745、FAX(622)7093、✉u47090004@cit y.utsunomiya.tochigi.jpへ
上河内(運)(中里町) 鈴木基司とみんな で歌おう ころ の歌・思い出の歌	11月8日(水)午後 1時30分～3時	市内に在住か通勤 している成人 先着200人	当日午後1時から、直接、上河内(運) ☎(674) 3131へ
河内(運)(中岡本町) 男の料理講座	11月7日、12月 26日、平成30年 1月11日、2月8日。 午前9時30分～午 後1時。全4回	市内在住の65歳 以上の男性 先着16人 材料費など(実費)	10月10日から、直接または電話で、河内(運) ☎ (671)3201へ

※講座名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢・性別

各生涯学習センター 秋の文化祭

(10月・11月初旬開催分)



■中央(運) ☎(632)6331

▽期日 10月27～29日。

▽会場 中央(運)・まちかど広場(中央
1丁目)。

▽内容 絵画・写真などの作品展示、絵手紙な
どの体験コーナー、専門学校生徒による似顔
絵・缶バッジ作成、中国茶などの模擬店、クイ
ズラリー(景品付き)、27日午後＝社交ダンス、
28・29日＝合唱・大正琴・フラダンス・保育園
児のお遊戯などの演芸発表会など。

■東(運)(中今泉3丁目) ☎(638)5782

▽期日 10月28・29日。

▽内容 絵画・書道などの作品展示、28日＝白
楊高校吹奏楽部・邦楽部による演奏会、29日＝
合唱・大正琴などのステージ発表。その他白楊
高校の農産物の販売など。

■南(運)(江曾島2丁目) ☎(645)0006

▽期日・会場 10月27～29日＝陽光(☐)(緑5
丁目)。10月28・29日＝緑が丘(☐)(緑3丁目)。
11月3～5日＝南(運)。

▽内容 11月3・4日＝日本画・洋画・書道な
どの作品展、11月3日＝模擬店などの催事、11
月5日＝合唱・大正琴・フラダンスなどの演芸
会など。

その他の文化祭 会場と日程

会場 問い合わせ先	日程	会場 問い合わせ先	日程
平石(運)(下平出町) ☎(660)1964	11月4日(土)・5日(日)	篠井(運)(下小池町) ☎(669)2515	11月2日(木)午後のみ・3 日(金・祝)
清原(運)(清原工業団地) ☎(667)5696	10月14日(土)・15日(日)	姿川(運)(西川田町) ☎(658)1594	11月4日(土)・5日(日)
横川(運)(屋板町) ☎(656)6452	11月4日(土)・5日(日)	上河内(運) ☎(674)3131	11月4日(土)・5日(日)
城山(運)(大谷町) ☎(652)4794	11月4日(土)・5日(日)	河内(運) ☎(671)3201	11月11日(土)・12日(日)
富屋(運)(徳次郎町) ☎(665)1663	11月4日(土)・5日(日)	※各(運)の文化祭について、詳しくは市 (HP)をご覧ください。  <small>スマートフォン 用QRコード</small>	

◎**豊の上の熱戦 百人一首全国大会・市民大会を観覧しませんか** **1**全国大会 ▽日時 10月21日(土)
午前9時30分～▽内容 全国の有段者が集う昇段を懸けた戦い **2**市民大会 ▽日時 10月22日(日)
午前8時30分～▽内容 団体戦(小・中・高・ファミリー・ファミリー初級)と初級クラス個人戦に分
かれ、楽しく盛り上がるかるた大会 **■会場** ブレックスアリーナ宇都宮(元今泉5丁目・市体育館)。☎
文化課(632)2763

本文中に記載がないものは、原則として、対象となる場合でも、費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPはホームページ、☐は地域コミュニティセンター、☒は市民活動センター、☓はメールアドレス

市民俳歌柳壇

ミヤリーマークは
ジュニアの句・首です。

柳壇 荒井宗明 選

◎選評 故郷の空気をたつぷりと吸い、爺婆に目いっぱい甘えて孫たちが帰った。孫と付き合った日々を取り返すため、年寄りの夏はこれからである。俗に「孫は来てよし、帰ってよし」と言う。真理である。やがては「じいじいばあ」と呼ばれ、うつつしい存在となるようだが、人の輪廻では、孫あたりまでかわいがる限界という。孫は来てよし、帰ってよし。

秋の七草数えても食べられず
古賀志町 天貝 久子

蔓珠沙華母の足音近くなる
城東一丁目 綱川 光江

核心に触れると記憶薄くなる
茂原二丁目 野口 久弥

闇鍋のように出てくる母の鍋
西川田南一丁目 笹沼 秀臣

歌壇 安野登美子 選

◎選評 久しぶりに恋の歌に出会いときめいた。初句「とどかぬ愛叶はぬ恋と」並列にインパクトがあり心に迫る。「知りつつも」が下の句を引いてくる。恋慕の情は諦めきれず「想ひ貫く」の結句がきつぱりと言いつ切り、ここに作者の本心を見た。揺れ動く恋心が歌に向かわせた。詠んでおきかかった一首だと思ふ。わが恋の心の変容を見事に歌い上げた。

とどかぬ愛叶はぬ恋と知りつつも
諦めつかぬ想ひ貫く
花園町 小林 秀行

巡り来る終戦の日の黙禱に
先人の苦難せつに迫りぬ
江曾島4丁目 今井 立子

宇都宮クレン高く空に舞ひ
工事の音色に街変はりゆく
泉町 秋野 毅

戦いの勝利を目指し優勝へ
藤井四段の連勝抜くぞ
姿川第一小学校 角山 侍

俳壇 星田一草 選

◎選評 大根の種まき時は8月下旬から9月上旬。残暑も過ぎ、いよいよ秋の気配が濃くなる頃である。その日を9月2日と決め、家訓とされた母。風土の伝統を誇りとして、賢明に生きられた母の面影をしのんでいるのであろう。母への敬愛の気持ちが伝わってくる。

大根まき九月二日は母の訓
中岡本町 中沢 智子

目鼻立ち残して抜けし蟬の殻
下岡本町 荒川 玲子

さんま焼く匂ひ流るる路地に住み
水室町 関 ふさ子

星祭り願ひの重さ笹撓ふ
駒生町 駒場 幸子

遠雷や夕餉の支度急かさるる
下田原町 五十嵐由美子

クイズコーナーの答え

表紙裏(目次)で出題したクイズの答えを発表するよ!



問題1の答え 3 旧篠原家住宅



旧篠原家住宅は、今の建物は明治28年に建てられたものなんだよ。篠原家は、江戸時代からしょうゆを造って売ったり、肥料を売ったりしていた商人なんだよ。家の材料には良いものが使われていて、主屋と蔵の一部が、国の重要文化財に指定されているんだって。

今は誰でも見学できるようにになっていて、希望者には、旧篠原家住宅保存会の人々が解説してくれるよ。旧篠原家住宅で楽しそうな催しもやっているから、7ページも見てね。

問題2の答え 4 185メートル

ジャパンカップサイクルロードレースは、ワンデーロードレースでは、アジアで唯一、最上位カテゴリーの大会なんだ。ツール・ド・フランスでステージ優勝した選手やワールドカップシリーズ総合優勝者など、数々のスター選手が参加していて、世界の第一線で活躍する選手たちの本気の勝負を間近で見られる、日本で唯一の大会なんだって。古賀志林道上り坂はジャパンカップ名物のつづら折りの上り坂。その先の山頂では3周ごとに山岳賞があるんだって。ジャパンカップについて、詳しくは、2ページを見てね。



◎俳歌柳壇 応募方法 1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。対象は市内在住の人で、未発表作品に限ります。はがきに、作品(漢字にはふりがなも付けて)・住所・氏名・ふりがな・応募する壇名を書き、毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。市内に在住か通学している小・中学生からも応募をお待ちしています。☎広報聴課☎(632)2028